

建設DX

で現場の今までをかえる

～情報共有システム（ASP方式）と遠隔臨場のご紹介～

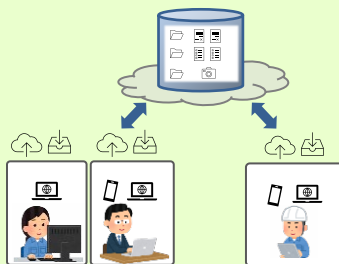


情報共有システム（ASP方式）

特徴

工事に必要な書類はクラウド上のシステムに保存することでデータを共有します。

データはシステムに登録した受注者、設計事務所、発注者がいつでもどこでも確認して、承認・確認・回答等のやりとりができます。



期待できる受注者のメリット

紙での書類管理が大幅削減！

システムで保存できるので、紙に印刷する手間が減り、作業時間を節約できます。

作成資料・やりとりをすぐに検索、再利用可能！

システムで保存されているので、メールや他のデータに埋もれることはありません。

大容量データのやり取りも可能！

大容量データもシステムで保存できるので、分割送付などの手間も削減できます。

遠隔臨場

特徴

ウェアラブルカメラやスマートフォンなどを使い、離れた場所で現場の状況を確認します。

WEB会議と同じ感覚で利用できるものも多く、受注者、設計事務所、発注者の3者を交えての遠隔での臨場もできます。



期待できる受注者のメリット

現場確認のための日程調整がラクに！

移動時間を削減できるため、臨場の日程調整がラクになり、スムーズに業務を進められます。

立会検査待ちを回避！

材料が納品されたからすぐに検査してほしい！というときでも遠隔臨場であれば、調整がしやすくなります。

遠隔地でも臨場で現場確認！

遠隔地は立会う側も時間を取られるもの。遠隔臨場をうまく活用して、現場の施工状況を関係者で共有できます。

建設DXを活用し、業務効率の向上にチャレンジしてみませんか？！